

北中だより

校訓：自主 明朗 協同



南島原市立北有馬中学校
令和8年7月17日発行
文責：校長 松尾 博愛



北有馬中 HP

～1 学期終業式～ 7月17日（金）

本日、1 学期の終業式を迎えました。4 月、新しい学年で少し緊張した表情を見せていた生徒たちも、この4 か月で学校生活にしっかりと慣れ、それぞれが自分の役割を果たしながら、着実に成長する姿を見せてくれました。授業では仲間と意見を交わしながら学びを深め、部活動では目標に向かって粘り強く努力し、学校行事では互いに励まし合いながら協力する姿が数多く見られました。

特に、体育大会では、競技や応援だけでなく、係活動や準備・片付けなど目立たない場面でも、一人一人が責任を果たそうとする姿が印象的でした。また、日々の学校生活においても、朝のあいさつが自然と交わされることや、困っている友達に声を掛ける姿、清掃活動に黙々と取り組む姿など、小さな成長の積み重ねを数多く感じることができました。

こうした生徒たちの成長は、学校だけで育まれたものではありません。日頃から温かく見守り、励まし、支えてくださっている保護者の皆様、そして地域の皆様のお力添えがあってこそのものであります。心より感謝申し上げます。

明日から始まる夏休みは、普段の学校生活では得られない経験を積むことができる貴重な期間です。健康と安全に十分留意しながら、様々なことに挑戦し、一回り成長した姿で2 学期の始業式に元気な笑顔で再会できることを、教職員一同楽しみにしています。

～「自分の命は自分で守る」～火災を想定した避難訓練～

6 月 23 日（火）、火災を想定した避難訓練を実施しました。生徒たちは非常放送をよく聞き、担任の指示に従って落ち着いて避難することができました。避難後には、訓練の様子を振り返るとともに、火災発生時に大切となる「お・は・し・も（押さない・走らない・しゃべらない・戻らない）」について改めて確認しました。

翌日には、東京都内の小学校で授業中に火災が発生し、児童や教職員合わせて 11 人が重軽傷を負う事故が起きました。煙が校舎内に広がる中、児童が校舎の外側のひさしへ避難し、救助を待つという緊迫した状況が報じられました。本校でも、この事故の前日に避難訓練を実施していたことから、災害は「いつか起こるもの」ではなく、「いつ起きてもおかしくないもの」であることを改めて認識し、防災教育の重要性を強く感じたところです。

避難訓練は、速く避難することだけを目的とするものではありません。放送や周囲の状況を冷静に判断し、自ら考えて安全に行動する力を身に付けるための大切な学習です。一人一人が命を守る行動を身に付けることが、将来、自分自身や大切な人の命を守ることに繋がります。

まもなく夏休みを迎え、ご家庭や地域で過ごす時間も増えます。火災をはじめ、地震や大雨などの災害が発生した際にどのように行動するのか、ご家庭でも避難場所や避難経路、連絡方法などについて話し合う機会をもっていただければ幸いです。学校と家庭が連携しながら、生徒一人一人の「かけがえのない命」を守る力を育てていきたいと考えています。

～「長崎っ子の心を見つめる教育週間」ご来校のお礼～

7 月 1 日（水）から 7 日（火）まで実施しました「長崎っ子の心を見つめる教育週間」には、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。

この教育週間は、2003 年 7 月 1 日に長崎市で発生した痛ましい事件を教訓に、「命の尊さ」や「他者を思いやる心」、「平和の大切さ」等について学び、考える機会として、長崎県内すべての学校で毎年実施されています。

本校でも、初日の全校講話をはじめ、道徳の授業や学級活動などを通して、「命」について考える学習を行いました。講話では、長崎県内で起きた過去の悲しい出来事に触れながら、「命に関わることは何よりも大切なことであり、自分の命も、家族や友達の命も、かけがえのないものである」ということを子どもたちに伝えました。また、「命を大切にすることは、自分自身を大切にすることから始まります。苦しいときやつらいときには、一人で抱え込まず、「助けて」と声を上げてよいこと、そして、相手を思いやる優しい言葉や「ありがとう」「大丈夫」「また明日ね」といった何気ないプラスの言葉が、誰かの心を支え、生きる力につながることも話をしました。

子どもたちは、この一週間を通して、一人一人がかけがえのない存在であること、そして、自分も周りの人も大切にしながら生活することの意味について、改めて考える機会となりました。

今後も学校では、「命を大切にすること」と「思いやりの心」を教育活動の根幹に据え、保護者や地域の皆様と連携しながら、生徒一人一人が安心して生活できる学校づくりを進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～2年生 救命救急法～

7月3日（金）、南島原消防署の皆様を講師にお迎えし、2年生を対象とした救命救急法の講習会を実施しました。

講習では、胸骨圧迫やAEDの操作方法について、一人一人が実際に体験しながら学習しました。生徒たちは、講師の助言を受けながら、正しい手順や力加減を確認し、繰り返し練習に取り組んでいました。

救命の現場では、救急車が到着するまでの数分間の対応が、人の命を左右することがあります。今回の講習を通して、生徒たちは、「自分にもできることがある」という意識をもち、緊急時に落ち着いて行動することの大切さを学ぶことができました。

南島原消防署の皆様には、ご多用の中、分かりやすく丁寧なご指導をいただき、心より感謝申し上げます。



～メディア安全教室～ 7月6日(月)

長崎県メディア安全指導員の佐藤匠様を講師にお迎えし、メディア安全教室を実施しました。

講話では、スマートフォンやインターネットは私たちの生活に欠かせない便利なツールである一方、使い方を誤ると大きなトラブルにつながることを、具体的な事例をもとに学びました。生徒たちは、「自分ならどう行動するか」を考えながら真剣に話を聞き、情報を正しく判断し、責任ある行動をとることの大切さについて理解を深めました。

また、インターネット上では、一度発信した情報は完全に消すことが難しく、何気ない投稿や写真が思わぬ影響を及ぼすこともあることを学びました。相手の気持ちを考えた言葉遣いや、情報を安易に信じたり拡散したりしない姿勢など、デジタル社会を生きる上で必要な心構えについて改めて考える機会となりました。

今後も学校では、情報モラル教育を継続し、安全で適切なメディア活用について指導してまいります。ご家庭におかれましても、お子様とスマートフォンやインターネットの利用について話し合い、よりよい利用の仕方考える機会としていただければ幸いです。



☆がんばりました！！

第72回全日本中学校通信陸上競技大会 砲丸投げ 第8位 3年

(7月の予定)

22日（水）～28日（火）二者・三者面談

25日（土）～27日（月）県中総体

28日（火）社明弁論大会

（2年 3年）

(8月の予定)

9日（日）全校登校日 平和集会(パソコン室)

20日（木）全校登校日 課題・実力テスト

21日（金）全校登校日 課題・実力テスト

○今後の予定（※変更になる場合もあります）

(9月の予定)

1日（火）始業式
学級委員任命式

2日（水）教育相談～24日

17日（木）～18日（金）2年生職場体験学習

29日（火）市中総体駅伝選手激励式

